

3・3 アジア船主協会(ASA)

3・3・1 ASA 総会

アジア船主協会(ASA)は、台湾船協の主催により、2017年5月24日から26日にかけて、台湾・台北で第26回総会を開催した。当協会から、池田潤一郎・村上英三・小林道康・小田和之各副会長、當舎裕己理事、小野芳清理事長他が出席した他、アジア8地域、13船協(日本、韓国、中国、台湾、香港、ASEAN(ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)、豪州)から約200名が参加した。

ASAは、1992年に第1回総会(当協会主催)を開催して以来、メンバー国／地域の船主協会が北から南の順で毎年議長を回り持ちしながら総会を開催しており、毎年の年次総会の間に5つの常設委員会(船員(SC)、 SHIPPING・エコノミクス・レビュー(SERC)、船舶保険・法務(SILC)、航行安全・環境(SNEC)、シップリサイクリング(SRC))がそれぞれ中間会合を開催している。5つの常設委員会の構成および各委員会への当協会代表(2017年5月26日時点)は【資料3-3-1-1】のとおりである。

第26回ASA総会では、総会前に各常設委員会が個別会合を開催し、主要議題の状況について意見交換された。その後の総会においては、前年度決算・当該年度予算や次期正副会長等、ASAの組織に関する事項が審議・了承された。また、各委員会委員長より1年間の活動概要が報告された。総会の後には、ICS等の国際海運団体や、造船・船級団体等と意見交換する「SHIPPING・フォーラム」が開催され、海運に関する主要課題について活発な議論が行われた。

総会終了後には、STCW・海上労働条約、油濁補償関連条約、環境保護に係るIMO規制、スエズ・パナマ運河通航料、シップリサイクル等に関するASAの意見をまとめたプレスリリース【資料3-3-1-2】参照)が発表された。

次回第27回総会は、2018年5月に香港船協の主催により、香港において開催予定である。(同じ週の後半に国際海運会議所(ICS)総会も香港で開催予定)

3・3・2 ASA 会長会議

ASA加盟船協会長で構成されるASA会長会議は、2017年5月24日に台湾・台北でASA総会に併せ第21回会合を、同年11月24日に香港で第22回会合をそれぞれ開催した。

いずれの会長会議も、次期ASA事務局長選任問題や予算執行状況、次年度予算案といったASAの運営に関わる問題と、他地域団体との連携強化などのASAの活動活性化に向けた方策について議論された他、各常設委員会の活動について意見交換された。また、11月の会合では、SERC委員長を磯田副会長へ交代する当協会提案が了承され、活動内容の見直しおよび名称をShipping Policy Committee(海運政策委員会、SPC)とすることが確認された。(詳細は3・3・3(1)ご参照)

3・3・3 各委員会における活動状況

1. 海運政策委員会 (SPC) 中間会合

当委員会はこれまで、 SHIPPING・エコノミックス・レビュー委員会 (Shipping Economics Review Committee: SERC) として、海運各トレードの状況や、独禁法適用除外問題、贈収賄問題などについて意見交換を行ってきたが、世界的な競争法施行強化の流れにおいて、万全のコンプライアンス確保の観点から、2017 年 11 月の村上英三委員長 (当協会副会長・川崎汽船社長) 退任を機に、後任の委員長は直接経営に関わる船社首脳ではなく当協会常勤副会長とすることとし、併せて委員会顧問弁護士とも相談の上、委員会名称および活動内容も以下の通り修正することとした。

委員会名: 海運政策委員会 (Shipping Policy Committee : SPC)

委員長 : 磯田裕治 当協会 (常勤) 副会長

活動内容: マクロ経済、諸規制、税制、貿易政策、運河問題、インフラ問題、政策広報問題等

新名称の下で第 1 回目となる SPC 中間会合 (慣例により、SERC 以前から通算し「第 30 回 SPC 中間会合」と称する) を 2018 年 3 月 15 日に東京で開催した。同会議には、日本、韓国、台湾、香港、ASEAN 各船協の代表 15 名が出席し、各国の海運政策や独占禁止法適用除外制度、パナマ運河通航料問題などの議題について外部識者による講演を交えた意見交換が行われた。特にインドネシアの貨物留保新規則をはじめとする各国の保護主義政策に関しては集中的に議論がなされ、会議概要とは別にポジションペーパーが採択された。(会議概要【資料 3-3-3-1】、出席者【資料 3-3-3-2】参照、インドネシアの貨物留保新規則に関しては本年 3・4・4 参照)

2. 船員委員会 (SC) 中間会合

船員委員会 (Seafarers Committee: SC) は 2017 年 10 月 23 日に中国・南京で第 23 回中間会合を開催した。同会合では、日本、中国、台湾、香港、ASEAN の各船協が出席し、Fu Xiangyang 委員長 (中国船協) の下、国際労働機関 (ILO) 海上労働条約や、船員の訓練および資格証明並びに当直の基準に関する国際条約 (STCW 条約) 改正に係る各国の取り組み状況等について意見交換が行われた。

3. 船舶保険・法務委員会 (SILC) 中間会合

船舶保険・法務委員会 (Ship Insurance and Liability Committee: SILC) は 2018 年 3 月 19 日に香港で第 23 回中間会合を開催し、日本、韓国、中国、台湾、香港、ASEAN の各船協が出席した。同会合では、Robert Ho 委員長 (香港船協) の下、フランス国内法、欧州における船主責任制限制度、プレステイジー号に関するスペイン最高裁判決の影響等の環境損害に関して意見交換が行われた他、HNS 条約について今後の動向を注視していくことが確認された。

4. 航行安全・環境委員会(SNEC)中間会合

航行安全・環境委員会(Safe Navigation and Environment Committee:SNEC)は中間会合を以下のとおり開催し、Esben Poulsen 委員長(シンガポール船協)の下、船舶バラスト水規制管理条約および(BWM Convention)、2020 年船舶 Sox 規制、海賊問題など海上安全・環境保護に関連する諸課題について意見交換が行われた。

第 33 回中間会合:2017 年 10 月 17 日 於 シンガポール

(日本、韓国、台湾、ASEAN の各船協が出席)

第 34 回中間会合:2018 年 3 月 26 日 於 シンガポール

(日本、韓国、香港、ASEAN 等の各船協が出席)

5. シップリサイクリング委員会(SRC)中間会合

シップリサイクリング委員会(Ship Recycling Committee:SRC)は、第 21 回中間会合を 2018 年 3 月 23 日に台湾・台北で開催し、日本、韓国、中国、台湾、香港、ASEAN の各船協が出席した。同会合では、Dr. C. H. Yeh 委員長(台湾船協)の下、香港条約(シップリサイクル条約)の早期発効に向け、次回 ASA 総会の機会を捉えた国際船主団体間のリサイクル問題に関する会議の開催をはじめ、EU 規制やシップリサイクルヤードの改善、SRC の今後の活動課題について意見交換が行われた。